

(様式 1)

平成 24 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|---|
| (整理番号) 107 | 提案機関名 神奈川県畜産会養鶏部会 |
| 要望問題名 地域銘柄鶏の開発について | |
| 要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 本県の養鶏経営は直販を主体として成り立っています。この鶏卵の直販に併せて鶏肉を加えることにより、更なる経営向上が図れると、各方面から期待されています。卵を中心とした兼用種では、卵生産は成績良好で、平飼い、放し飼いにも適した鶏種と考えられます。しかしながら、肉利用はもう一歩不満の点が残ります。兼用種は鶏卵生産に特化し、横斑をベースにシャモ、比内鶏を活用した本県に適した新しい地域銘柄鶏の、早急な開発をお願いします。 なお、併せて、本県には処理施設が少なく技術力が弱いため、平準的な処理技術の確立をお願いします。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備 考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | |
|--|---------------|
| 回答機関名 農業技術センター畜産技術所 | 担当部所 企画研究課 |
| 対応区分 ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | |
| 試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の作出を目指した鶏卵・鶏肉の高付加価値化技術の開発(H22~24) | |
| 対応の内容等 当所では横斑プリマスロックをベースにした卵肉兼用種の国産鶏について組合せ検定試験を現在実施しており、実用化されている「岡崎おうはん」は、産卵性については卵重が小さく飼料摂取量が多いものの産卵率では外国鶏と同等の良好な成績が得られております。 肉用に特化した地域銘柄鶏の開発のご要望に対応いたしまして、この横斑プリマスロックをベースにした卵肉兼用種の雌に肉用に改良された横斑プリマスロック、比内、名古屋等の雄を掛け合わせた組合せ検定を平成 24 年度から実施し産肉性について調査していく予定です。 なお、処理技術の確立のご要望については、銘柄鶏の開発を進めていきながら、必要な情報の収集に努めていきたいと思っています。 | |
| 解決予定年限 ①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内 | |
| 備 考 | |